

## 第28回芥川トコロジスト調査隊報告（4月14日）

日時：令和6年4月14日（日）10時～13時

場所：摂津峡公園東側の畑周りほか

お題：春の野草観察と試食

参加：23名、講師（あくあびあ芥川高田総括学芸員）

観察種：47種（うち種子植物38種）

概要：天気は晴れ、暖かい日差しのもと23名が参加。塚脇橋に集合し摂津峡公園東側の黄金の里、塚脇地区を春の野草を摘みながらそぞろ歩いた。4月に入ると一斉に色とりどりの野草が咲き出す。ウマゴヤシ、アケビ、キュウリグサなどなど。



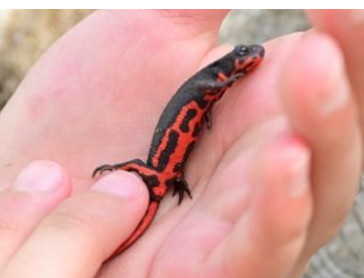
ヒメウズ、カスマグサ、フラサバソウはとても小さく可愛い。



建物の駐車場の中にツバメの巣があり入り口の狭いシャッターの隙間から出入りしていた。ツバメの巣作りは小さなお口にひとつまみ田んぼの土を取っては巣に貼り付ける作業の繰り返しだそうです。シャガやキランソウの花は色鮮やか。クサイチゴはもう少しするとやや酸っぱい赤い実が食べられる。



ヌマガエル、アカハライモリやカタツムリの這った跡も観察した。



## 第28回芥川トコロジスト調査隊報告（4月14日）

芥川そばの畑に12時頃に到着すると鍋とコンロで野草を茹でて揚げて試食会。ハコベ、タンポポ、ミツバなどは茹でただけでマヨネーズやポン酢をつけて食べる。タケノコ、フキの葉などは揚げるとえぐみが取れて軽く塩するだけで美味でした。



観察した種：47種

（種子植物）38 ウマゴヤシ、アケビ、カラスノエンドウ、カスマグサ、スズメノエンドウ、キュウリグサ、ハナイバナ、オオイヌノフグリ、イタドリ、アリアケスミレ、タチツボスミレ、マメグンバイナズナ、ナズナ、スイバ雌株・雄株、ノチシャ、センダン、ギシギシ、ヒメウズ、ミント、ツタの吸盤、アオキ雌花雄花、ハナニラ、ミツバアケビ雄花、タネツケバナ、ヤマタネツケバナ、ヤブニンジン、ヤブジラミ、キランソウ、クサイチゴ、オトギリソウ、ヘビイチゴ、ヤブヘビイチゴ、トキワハゼ、オオカワヂシャ、サンショウ、リュウキンカ、ソクズ

（シダ類）ベニシダ、ツクシ（菌類）ジンガサゴケ（両生類）ヌマガエル、アカハライモリ（爬虫類）カナヘビ（クモ）ゴミグモ、イシガキチョウ（軟体動物）カタツムリの這った跡（鳥）ツバメと巣